

## 王安憶文学作品における上海語研究(2)

—『流逝』(その2)—

吉田陽子

『流逝』について(第1章10頁~第2章19頁)

頁-行	下線の語彙—上海語 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
10頁-3行 (以下「10-3」と略す)	“小娘娘的钢琴搬走了。” 小娘娘(xiǎo niàn niàn)	(「叔母さんのピアノが持って行かれた。」) 小娘娘:一番下の叔母。小娘娘=〈小姑姑〉
10-11	“自己去泡一碗泡饭。”端丽随口说,…… 泡泡饭(pāo pāo váe)	(「自分でお茶漬けを作ってきてね」と端麗がついでに言った。…) 泡泡饭:冷たいご飯にお湯をかける。 (上海では、よく当日の白いご飯を使ってこのような食べ方をする。)
10-14	没资格参加红小兵,只好闷头做功课。 闷头(mèn dhóe)	(紅小兵の参加資格がないので、勉強に打ち込むしかなかった。) 闷头:没頭する。(上海語では、「闷着头+動詞」という動態助詞「着」を加えるような使い方はしない。)闷头=〈埋头〉
10-18	“稀奇死了。”多多嘴巴翘起来了。 稀奇(xì jí)	(「大したことはないのに」と、多多は口を尖らした。) 稀奇:珍しい。(「稀奇死了」は、【稀奇煞勒 xì jí sak lěk】のように使われている。願いが叶えない時、相手に言うことば。) 稀奇死了=〈没什么了不起的〉
10-22~24	“你爹爹置这份家业,是千辛万苦,你们不晓得。”婆婆唠叨,“……吃了多少苦头,才开了那厝厂……” 晓得(xiǎo dèk) 厝(bhái)	(「あなた達は分からないと思うけど、父さんは会社を興すのに、ありとあらゆる苦勞をしたんだよ」と義母はうだうだと、「…どれ位苦勞をして、その会社が始まったことか…」という。) 晓得:知る。(「不晓得」は、【勿晓得 wèk xiǎo dèk】のように使われている。)不晓得=〈不知道〉 厝:会社、店などに使われる助数詞。 厝=〈家〉
10-26, 27	“……我的陪嫁全贴进去了,银洋钿像水一样流出去……” 银洋钿(nín yhián dhí)	(「…私の嫁入りの持参金を全部使い果たしてしまうと、お金は、水のように流れてしまった。…」) 银洋钿:お金。 (解放後以降、人民幣が使われていても、上海語の話言葉としては、「一分洋钿」=〈一分〉、「一角洋钿」=〈一角〉、「一块洋钿」=〈一块〉のように使われている。)



13-8、9	端丽 <u>翻箱倒柜</u> ，将穿不着的衣服找出来，准备送到 <u>寄售商店</u> 去。 翻箱倒柜 (fān xiān dǎo guān) 寄售商店(jī zhóu sànn diàn)	(端麗は、木箱や箆笥を隅から隅まで探して、着ない服を見つけ出して、古着屋へ持って行こうとした。) 翻箱倒柜:箱をひっくり返して徹底的に探すこと。 翻箱倒柜=〈翻箱倒篋〉 寄售商店:古着屋 寄售商店=〈当舗〉
13-16、17	她 <u>翻拣</u> 着这些东西，心里隐隐地作痛。 翻拣 (fān jiǎn)	(彼女は、こんな物をいじくり回しているうちに、心がなんとなく痛く感じる。) 翻拣:いじくり回す。翻拣=〈翻弄〉
14-17、18	她把这件连衣裙也 <u>拣</u> 了出来，… … 拣(gān)	(彼女はこのワンピースも選び出した。…) 拣:選ぶ。「拣出来」は、方向補語を付加した用法。)拣出来=〈挑出来〉
14-25、26	……两个女人，以及一群穿着一色改制的工作服的、大大小小的男女孩子，在 <u>底下</u> 忙进忙出。 底下(dǐ xià) 忙进忙出(máng jìn máng chū)	(…女性二人と、同色の作り直した作業服を着ている年の違う男の子と女の子が、一階で忙しくしている。) 底下:階下。 底下=〈楼下〉 忙进忙出:出たり入ったりして忙しくすること。 忙进忙出=〈忙来忙去〉
14-26~15-1	端丽渐渐地认清刚才那捧米缸的 <u>大块头</u> 女人和瘦小的、只顾埋头干活不大说话的男人们是一家子，那女人被称作“阿毛娘”。 大块头(dà kuān tóu)	(端麗は、先ほど米びつを持っている大きく太った女性は、小柄で痩せた、ひたすら黙々と働いている無口な男性と家族であることが段々と分かってきた。その女性は「阿毛母さん」と呼ばれている。) 大块头:がっちりした体格で、太った人の表現。 大块头=〈大胖子〉
15-2	……她觉得他们彼此没有什么明显的差别，都很 <u>邋遢</u> 和粗野。 邋遢(lā tā)	(…彼女は、彼らを互いにはっきり区別しなくても、どちらもだらしなく、粗野であると思っていた。) 邋遢:だらしのない;不潔である。邋遢=〈潦倒〉
15-5~7	隔壁弄堂里有几家不怎么样的人家，那些孩子常常过来捣蛋，对着端丽他们的 <u>背脊</u> 叫“阿飞”甚至扔石头。 背脊(bēi jǐ) 阿飞(ā fēi)	(隣の路地にあまり裕福でない家は何軒もあり、その子ども達がよくこちらにやってきて嫌がらせをする。端麗らの背中に向かって「西洋かぶれ」と名指し、ひどい時は、石を投げつけられるのもあった。) 背脊:背中。 背脊=〈背后〉 阿飞:外国かぶれの人を指す。 (上海では、文革時、お洒落し、あか抜けしている人、特に女性を「阿飞」と名指したりした。)
15-18	“妈妈，我下去 <u>一歇歇</u> 。”咪咪来不及地要走。 一歇歇(yí xiē xiē)	(「お母さん、ちょっと下へ行ってきます」と、咪咪は待ちきれず行きたがっていた。) 一歇歇:(上記「11-4、5」に同じ。) 一歇歇=〈一会儿〉
15-21、22	“妈妈，你怕什么？他们又不吃人。我上来时，一个 <u>大块头</u> 女人还朝我笑呢！”多多说。	(「お母さん、何を恐れているの？彼らは人喰いなんかはしないよ。二階に上がってくる時、体が大きく、太った女性が私ににこにこしていたわよ!」)

	大块头(dhú kuāe thóe)	多多が言った。 大块头：(上記「14-26~15-1」に同じ。) 大块头=〈大胖子〉
16-1、2	“多多！”端丽叫。 “做啥啦？” 做啥(zū sā)	(「多多！」端麗は呼んだ。「何か用?」) 做啥:何か用?(上記「11-18」を参考。) 做啥=〈干嘛〉
16-1、2	多多不响了,她对抄家十分惧怕。 响(xiān)	(多多は黙り込んだ。彼女は、家宅捜査に対して大変恐怖感を覚えている。) 响:話しをする。不响=〈不作声〉
16-16	“你这小囡怎么这样不听话!”端丽火了,…… 小囡(xiāo néu)	(「この子ったら、何でこんなに聞きわけないの!」と、端麗は怒り出した。…) 小囡:小さな女の子。小囡=〈小女孩〉
17-3	隔壁传来婆婆的说话声,很响。 响(xiān)	(隣りから義母の伝わってくる話し声は、とても大きい。) 响:大きい。响=〈大〉
17-6	“姆妈,你怎么生气了?”端丽说。 姆妈(m< I 声)mà)	(「お母さん、どうしてご立腹されたのですか?」と端麗が聞いた。) 姆妈:(上記「11-2、3」に同じ。)姆妈=〈妈妈〉
17-8~10	“端丽,你听听!这个冤家自说自话在学校里报名参加什么战斗队,到黑龙江去开荒种田。黑龙江是啥地方,你晓得吧!六月里落大雪,鼻头耳朵都要冻掉。” 冤家(yhuèu kà) 自说自话(zhí sek zhí hhó) 啥地方(sā dhí fàn) 晓得(xiāo dek) 落大雪(lǒk dhú xik) 鼻头(bhĩk dhóe)	(「端麗よ、聞いてくれ!このろくでなしが勝手に学校で何とかいう戦闘隊に入り、黒竜江へ開墾しに行くのに応募したの。黒竜江はどんなところかはあなたも知っているよね!6月にも雪が降り、鼻も耳も凍ってしまうのよ。) 冤家:ろくでなしの子。(上海語では、母親が子どもが話を聞いてくれない時に、【小冤家 xiāo yhuèu kà】と使うこともある。) 自说自话:勝手に。自说自话=〈擅自〉 啥地方:どこ。(上記「11-18」を参考。) 啥地方=〈什么地方〉 晓得:(上記「10-22~24」に同じ。)晓得=〈知道〉 落大雪:大雪が降る。落大雪=〈下大雪〉 鼻头:鼻。鼻头=〈鼻子〉
17-13	“姆妈,你消消气!”端丽接过文影手里的茶杯递给婆婆, 姆妈(m< I 声)mà)	(「お母さん、ちょっと気を静めてください!」端麗は文影が持っていたお茶を受け取り、義母に渡した。) 姆妈:(上記「11-2、3」に同じ。)姆妈=〈妈妈〉
17-16	“不,是他自觉自愿的。”文影说, 自觉自愿(zhí juek zhí nuéu)	(「いいえ、彼は自分から志願したのです」と文影が言った。) 自觉自愿:自ら願うこと。自觉自愿=〈自己情愿〉
17-18、19	端丽宽婆婆的心,“现在都兴这样,动员大家统统报名,但批准起来只有少一部分人。” 批准(pì zēn)	端麗は義母を安心させるため、「今、このようなやり方は流行りで、みなさんを動員して全員応募するようにするの。でも、許可してもらえるのは少数人数です」と言った。

	统统 (tòn tòu)	批准：許可する。「批准起来」は方法補語を付加した用法。批准起来＝〈批准下来〉 统统：全部。统统＝〈都〉
--	--------------	--

**【参考資料】**

「日本語」

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

「中文」

阮恒輝 著『上海話教程』上海辭書出版社、2014年8月

錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辭書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

**【参考文献】**

張新穎、金理 編『王安憶研究資料』(上)(下)天津人民出版社、1996年

**「王安憶作品」**

『海上繁華夢』王安憶自選集之一・中篇小説卷、作家出版社、1996年